



学校だより

中山小

中山小学校は創立129年目を迎えました

学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます

”夢をかたちにこころひとつに中山魂”

横浜市立中山小学校

令和3年 4月7日 発行

4月号

新たな時代の教育へ ～未来を拓いていく「なかやまっ子」を育てるために～ 校長 吉田 茂樹

暖かな春の日差しに包まれる中、子どもたちの元気な声とともに令和3年度の教育活動が始まりました。私は、都筑区から4月1日に中山小学校に着任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。今年度は、113名の新1年生を迎えました。新1年生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様、お子様のご進級おめでとうございます。

さて、今年度の教育活動をスタートするにあたり、柱となる本校の目標・取組についてお伝えします。（中期学校経営方針など詳細につきましては、別途、お知らせします。）

◎学校教育目標・・・ 不変です！

<豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます>

いろいろな人（学級・学年、異学年、異校種、教職員、保護者・地域の方々、外部講師など）とのかかわりを通して主体的・対話的に学び、豊かな心を育み、自分の生き方をつくっていく「なかやまっ子」を育てていきます。

また、本校では、4月から、2つの横浜市教育委員会モデル事業がスタートします。

チーム学年経営

学年担任の視点で、チームで学年全体の子どもたち一人ひとりをみとり、児童理解・支援を共有します。いじめの早期発見や学級担任以外でも児童が相談しやすい環境づくりにつながることも期待できます。教師は、教科分担制の推進により、自分の専門性を生かせるとともに、担当した教科に集中して教材研究することができます。児童は、いろいろな教師のよさにふれ、豊かな学びにつながります。

弾力的な教育課程の編成

児童の集中力が持続しやすい午前中に授業を集中し、午後の負担を減らして児童の健康維持を図ります。また、地域などの放課後の学びを充実することもできます。教職員においては、放課後の教材研究・職員会議など一定の時間を確保でき、働き方改革につながります。

内容については、年間の国の標準時間数を十分に確保した上で、午前中40分授業を5コマと10分間のスキルタイム（週4回）を行い、午後は、50分授業（必要に応じて25分授業を2コマ）を行います。登校時間・始業時刻、下校時刻なども含め、時間割が変更になっていますので添付の資料にてご確認ください。

本年度も子どもたちの益々の成長に向けて保護者・PTA、地域の皆様をはじめ、関係者の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願ひいたします。